



2024年2月9日

各位

会社名 堺化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 矢倉敏行
(東証プライムコード4078)
問合せ先
役職・氏名 取締役経理部長 服部浩之
電話番号 072-223-4111

特別損失（減損損失）の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年3月期第3四半期連結会計期間（2023年10月1日～2023年12月31日）において、下記のとおり減損損失を計上することといたしました。

これを受け、2023年11月8日に公表いたしました2024年3月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

当社および当社の連結子会社において、一部の固定資産について減損の兆候が認められることから、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」等に基づき減損処理を行い、当第3四半期連結会計期間（2023年10月1日～2023年12月31日）において、減損損失6,198百万円を特別損失に計上しております。

減損損失を認識した事業単位は以下の通りです。

① 酸化チタン事業

酸化チタン事業について、5次にわたる販売価格改定を行い、収益の改善をしておりますが、輸入品との競争激化、原燃料価格高騰によるコスト上昇、設備老朽化により損益が悪化したことに伴い、収益予測の見直しを行いました。その結果、酸化チタン製造設備の回収可能価額をゼロと評価し、3,578百万円を減損損失として計上しております。

② 無機・亜鉛事業

無機・亜鉛事業のうち、硫酸バリウムについて積極的に投資をしておりますが、原燃料価格高騰によるコスト上昇等により損益が悪化したこと、また、販売価格改定を段階的に行っていることから、収益予測の見直しを行いました。その結果、硫酸バリウム製造設備の帳簿価額の回収可能価額をゼロと評価し、1,947百万円を減損損失として計上しております。

③ 樹脂添加剤事業

樹脂添加剤事業について、販売価格改定を行い収益の改善をしておりますが、国内需要の低迷、原燃料価格高騰によるコスト上昇等により損益が悪化したことに伴い、収益予測の見直しを行いました。その結果、国内の樹脂添加剤製造設備の帳簿価額の回収可能価額をゼロと評価し、217百万円を減損損失として計上しております。

あわせて、稼働休止設備に関しても、8百万円を減損損失として計上しております。

④ 医療事業

医療事業のうち、医療用医薬品関連設備について事業投資してまいりましたが、原燃料価格高騰によるコスト上昇等により損益が悪化したことに伴い、一部の設備について収益予測の見直しを行いました。その結果、医療用医薬品関連設備の帳簿価額を正味売却価額 10 百万円まで減損し、447 百万円を減損損失として計上しております。

2. 2024 年 3 月期通期（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）連結業績予想数値の修正

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------|--------|-------|-------|-------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 84,000 | 1,900 | 1,700 | △800 | △49.38 |
| 今回発表予想 (B) | 84,000 | 1,900 | 1,900 | △7,000 | △432.10 |
| 増減額 (B-A) | 0 | 0 | 200 | △6,200 | |
| 増減率 (%) | 0.0 | 0.0 | 11.7 | — | |
| (ご参考)前期実績(2023 年 3 月期) | 83,861 | 4,407 | 4,854 | 2,344 | 144.85 |

3. 修正の理由

2024 年 3 月期の通期連結業績予想につきましては、2023 年 3 月に発生した小名浜事業所の火災事故等に対する保険金が確定し、営業外収益に保険金収入を計上したことにより、経常利益が前回公表予想値を上回る予想となりました。また、「1. 特別損失（減損損失）の計上について」に記載のとおり、特別損失 6,198 百万円を計上いたしました。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表予想値を下回る見込みとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

4. ご参考（配当予想について）

剰余金の配当につきまして、当社は株主の皆様への安定した利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけており、連結業績予想の修正による配当予想の修正はございません。

5. 今後の事業方針について

当社は、効率化検討事業について抜本的な対策を検討しております。今後は、成長事業に設備投資や人的資源を集中的に投下することで利益創出、事業ポートフォリオの変革を進めてまいります。なお、方針等が決定次第、速やかに公表いたします。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上